

当日資料：事前意見リストに対応

事前意見のまとめ

令和4年2月1日

国立がん研究センターがん対策研究所医療政策部

東 尚弘

(PDCAサイクルフォーラム事務局)

事前意見の質問

Q1. 削除した方がよい要件

Q2. 追加した方がよい要件

Q3. 人員配置(ストラクチャー)vsプロセス／アウトカム指標

Q4. 集約化すべき事項

(お手元の資料は生の意見を転記したものです)

Q1. 削除した方がよい要件

回答は削除提案だけでなく、既存の要件で「改善・改変が必要な項目」の指摘をいただきました。

類型：

- ① 根拠/意図の説明が必要な項目
- ② 要件の内容を具体化すべき項目
- ③ 効果を検証し明確化すべき項目
- ④ 既に達成したため卒業してもよい項目
- ⑤ 充足が困難な項目
- ⑥ その他

事前意見で挙げられた削除提案事項①～③

① 根拠/意図の説明が必要な項目

保険適応外免疫療法の研究としてのみ施行、緩和ジェネラルマネージャー（県）
都道府県拠点によるがん登録実務者教育（県）、地域との緩和カンファ（県）

② 要件の内容を具体化すべき項目

小児がん長期フォローアップ、緩和ケア地域連携体制のリスト/マップ公表
各診療科の医師の連携の場、政策調査への協力、高次の相談支援（県）

③ 効果を検証し明確化すべきと項目

苦痛のスクリーニング、地域連携パス、症状緩和パス、アドバンス・ケア・プランニング

事前意見で挙げられた削除提案事項④～⑥

④ 既に達成したため卒業してもよい事項

敷地内禁煙、クリカルパスの活用

⑤ 充足が困難な事項

人員配置（相談支援、がん登録、緩和ケア）、
連携によるレジメン管理（診療病院）

⑥ その他

化学療法患者の集計方法、放射線品質管理の費用

白血病無菌室、コロナ禍への配慮、診療実績に関する一貫した集計方法

地域がん診療連携拠点病院（高度型）の意義、現況報告の内容

対応の検討

削除の可否は検討しつつ、必要に応じて

- ① 根拠/意図の説明が必要な項目 → 説明を付記
- ② 要件の内容を具体化すべき項目 → 説明を付記
- ③ 効果を検証し明確化すべき項目 → 効果の検証/明確化
- ④ 既達成したため卒業してもよい項目 → 卒業適否検討
- ⑤ 充足が困難な事項
→ 医療の質を落とさない代替要件の検討
- ⑥ その他の指摘 → 個別の検討

Q2. 追加した方が良い要件（抜粋）

- 高度型拠点の基準（と役割）
- がん診療統括部門とジェネラルマネージャー
- がん薬物療法専門医
- 骨転移診療体制（カンサーボード、専門外来）

演題登録

- 高齢者フレイルのスクリーニング
- キンサーボードの緩和ケア医の参加
- 施設管理者にPEACE研修
- 就労支援のための両立コーディネーター
- 希少がん/難治がんの連携
- 院内がん登録の予後情報提出
- 専従医学物理士、細胞診断の専門資格保有者
- 緩和ケアチーム上に栄養士、リハビリ医
- 業務規模に応じたがん相談員、あるいは増員

(番外) 拠点現況報告への追加項目

- がん患者指導管理料算定割合
- 療養・就労両立支援指導料
- がん患者リハビリテーション料の実施件数、算定件数
- 悪性腫瘍の手術内容を明確化（緩和手術を含むか）

Q3. 人員配置vsプロセス／アウトカム指標

総論：方向性としては賛成多数、現実には課題

課題：

- ・指定要件が無いと人員枠を経営陣に要求することすら難しくなる
- ・指標の選定をどうするか
- ・測定負担をどのように軽減するか
- ・指定要件（入口）として使うか、指定後の事後評価として使うか

論点：

- ・人員配置の代替になるのか、補完的位置づけか
（例）人員配置は基本としつつ、困難な場合には代替として同等の医療レベルを証明できる評価方法を提案する

(参考) 挙げられた指標例 (抜粋)

- 外来IC後の患者の理解度、セカンドオピニオンの希望、
- 相談窓口の利用希望等の経時的モニタリング
- 患者満足度調査結果
- がん患者の運動機能維持
- QI研究事業
- 診療報酬上の施設基準と合わせた事項
- 緩和ケア研修会受講率
- がんパス運用実績及びヴァリエーション件数
- 外来・入院のスクリーニング実施件数及び苦痛症状の有無
- ACP問診票の運用実施数
- お口のカルテ運用件数
- がん相談を幅広く地域住民に活用してもらうための取り組み
- 化学療法実施前の看護師によるカウンセリング・状態確認
- がん診療の地域連携パス

Q4. 集約化すべき事項

- 診療機能

小児がん治療、生殖機能温存治療体制

核医学・粒子線治療

希少がん治療

ゲノム医療

- がん対策における役割

PDCAサイクルの事務局、緩和ケア研修会

医療者/一般向けセミナー、ピアサポーター育成

臨床研究/調査研究



集約化は連携が前提

連携の確保方法も含めて検討必要